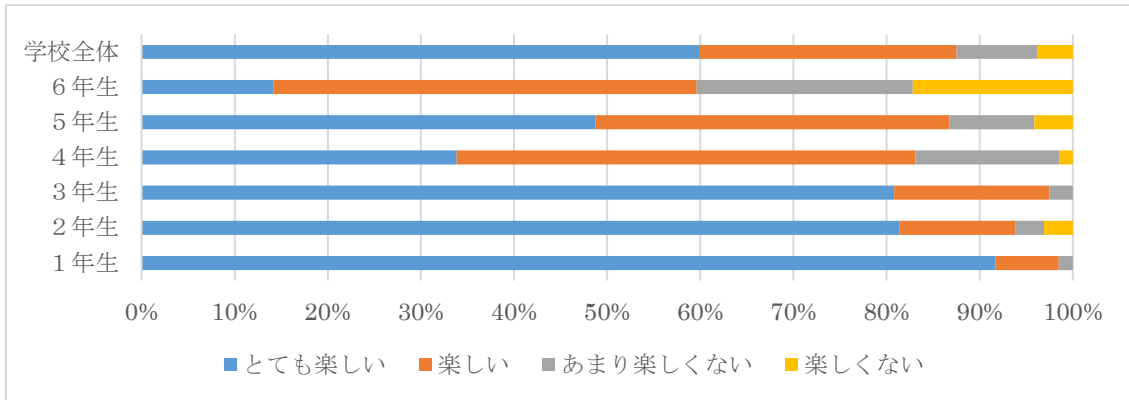


英会話科に関するアンケート調査結果

令和元年度に実施しました英会話科に関するアンケートの結果です。

【児童へのアンケート結果から】

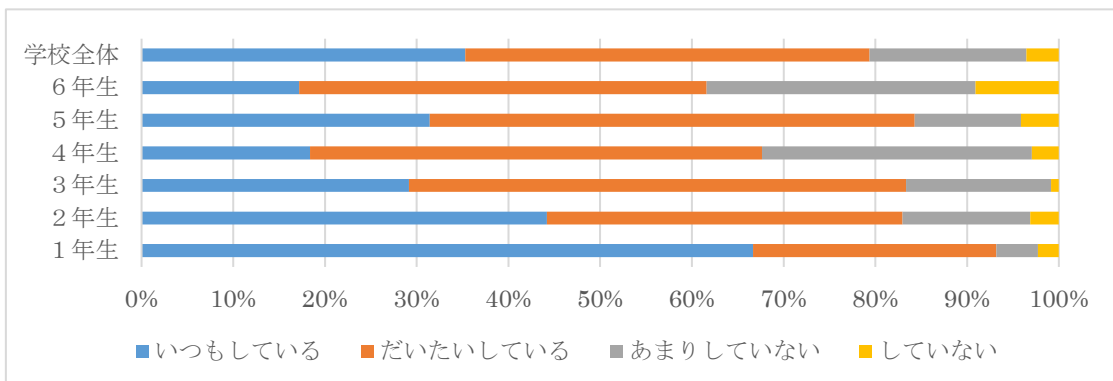
1 英会話科の授業は、楽しいですか。



学校全体の約90%の児童が英会話科の授業が楽しい(とても楽しい・楽しい)と答えている。特に1~3年生は「とても楽しい」と答えている児童が8割を超えている。高学年になるにつれて、楽しいと感じる児童が少なくなる傾向にある。

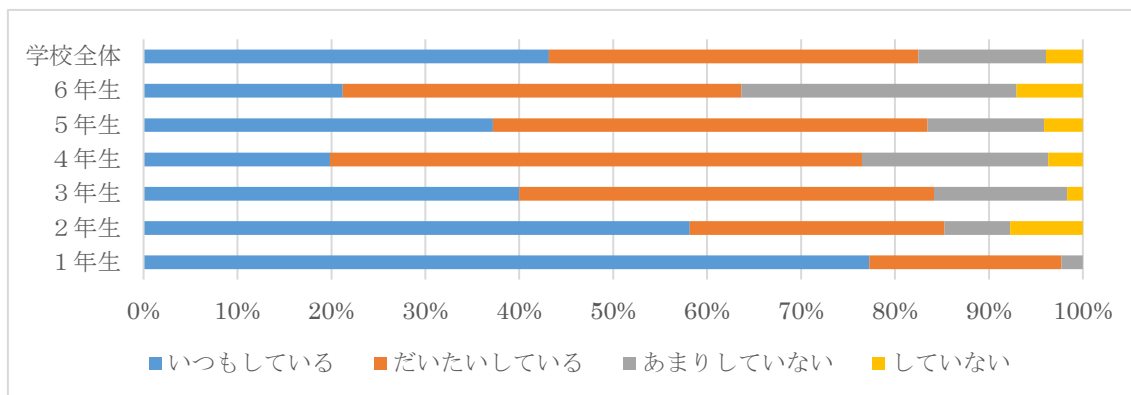
児童が「楽しい」を英語のゲームをする楽しさとして捉えているため、高学年になるにつれて減少していると考えられる。高学年では英語を使って話す知的な楽しさに「楽しい」と感じることができるよう工夫が必要だと考える。

2 英会話科の授業において、相手に伝わりやすいように、はっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。



学校全体の約80%がしている(いつもしている・だいたいしている)と答えている。ペアトークやグループトーク、発表など、必要な場面では事前に声かけをしているため、意識をして話をしている児童が多い。しかしながら、全体での発表や個別になると恥ずかしさから声が小さくなる実態がある。

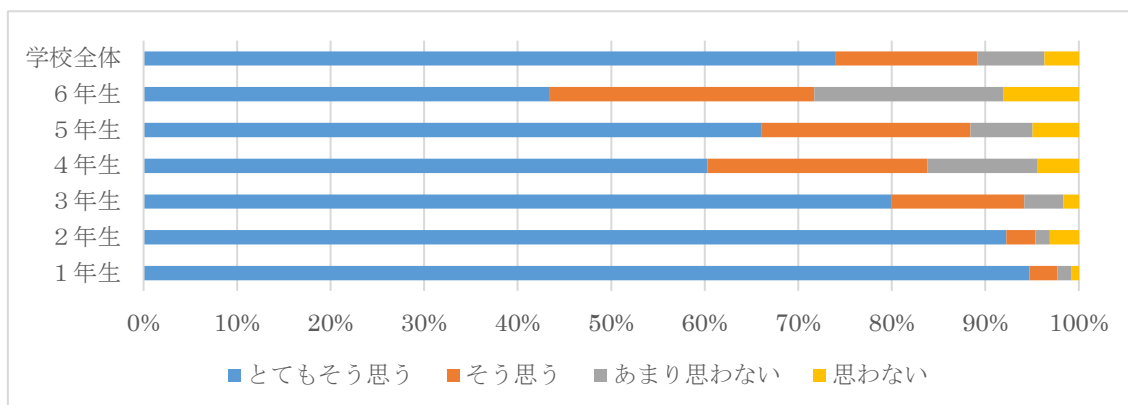
3 英会話・英語の授業において、相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



学校全体の80%以上の児童が、相手の目を見ながら会話することを心がけている（いつもしている・だいたいしている）と答えている。

話したり発表したりする場面の前には、アイコンタクトの大切さを示しているため、意識している児童が多い。しかしながら、高学年になるにつれて内容が難しくなるため、教科書やプリントを見て話してしまう実態を改善していく必要がある。

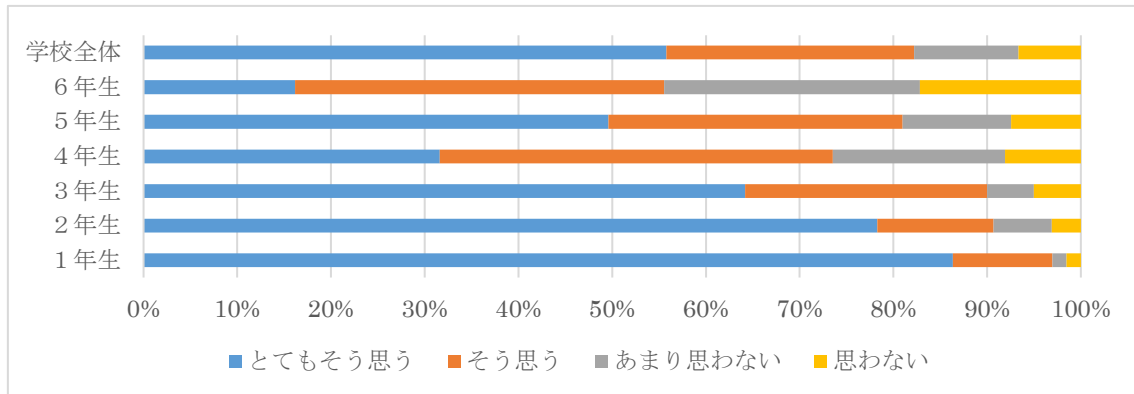
4 もっと英語が話せるようになりたいですか。



学校全体の約90%の児童が話せるようになりたい（とてもそう思う・そう思う）と答えている。

得意と感じている児童や好きと感じている児童だけでなく、授業の振り返りでは「英会話は苦手だけど、話せるようになりたい」、「嫌いだけど覚えて話したい」など、苦手と感じたり・嫌いと思っていたりしても、話せるようになりたいと感想を書いている児童もいる。

5 英会話科の授業は、好きですか。



学校全体の80%以上の児童が好き（とてもそう思う・そう思う）と答えている。Game（ゲーム）やSong（歌）、Chant（チャンツ）等、様々な表現活動を数多く取り入れながら授業を展開することで、児童が意欲的に活動し好きだと感じていると考えられる。

高学年になるにつれて、年齢的な恥ずかしさや難しさが出てくることで英語での表現活動に苦手さを感じている実態がある。

【学校関係者・保護者からの意見】

- ・子供たちが楽しそうに、明るい表情で授業を受けているところがいい。
- ・学校で学んだ英語の表現で話しかけてくることがあり、驚きましたが楽しんで英語を勉強しているようでうれしかったです。
- ・家のお風呂で「Sunday, Monday, Tuesday」の歌を歌っていました。